

## マーケットの動き（2023年5月15日～5月19日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。米国債務上限問題を巡る先行き不透明感が後退したほか、FRB（米国連邦準備制度理事會）高官が6月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で追加利上げを行う可能性を示唆するなど、米国債券は週を通して売られました。欧州国債市場は、おおむね米国と連動する推移となりました。

## 投資環境見通し（2023年5月）

## 長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに小幅に上昇

**米国：**長期金利は、足元の堅調な雇用情勢に加え、インフレの高止まりや年内利下げ観測の後退から、上昇するとみています。ただし、これまでの利上げによる景気後退懸念が低下圧力になるとみられることから、長期金利は小幅の上昇にとどまるとみています。

**欧州：**ドイツ長期金利は、金融システム不安が後退する中、コアインフレ率の高止まりと賃金上昇圧力に対する警戒感から、ECB（欧州中央銀行）高官は金融引き締めを強調していることもあり、上昇圧力が上がりやすい展開を予想しています。

	5月19日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	3.69	0.23	0.09	▲0.12	0.84
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース(騰落率)	523.92	0.80%	2.11%	1.08%	3.31%

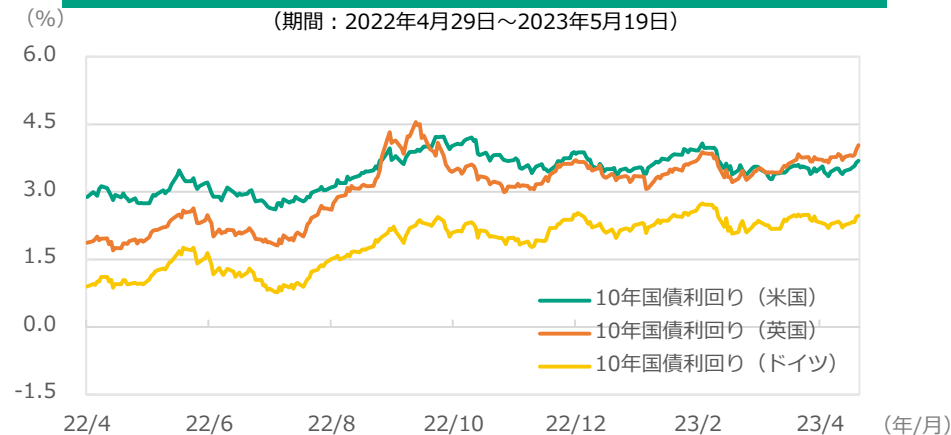
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

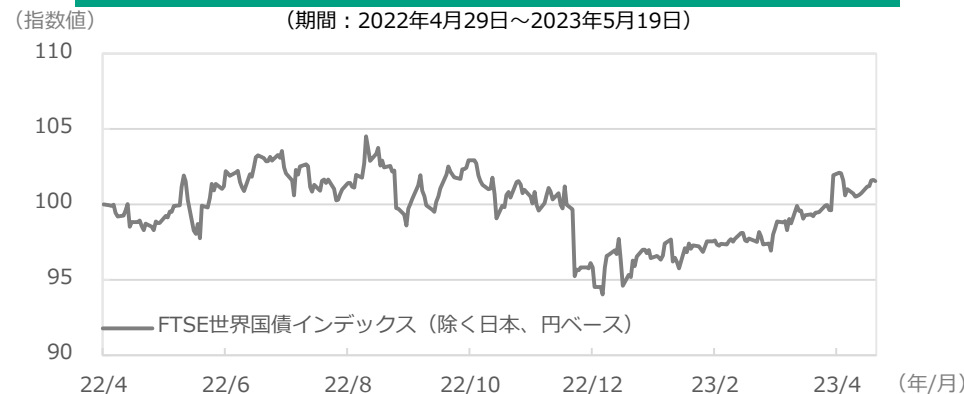
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202305\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202305_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 主要国国債利回りの推移



## FTSE世界国債インデックスの推移



※2022年4月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成